

第1回 浜黒崎小学校のあり方協議会 議事概要

開催日：令和5年7月6日（木）

開催時間：19時～20時20分

開催場所：浜黒崎地区センター

出席者：渡辺会長、谷井副会長、仲田副会長、姉崎委員、飯山委員、大田委員、
宝田(実)委員、温井委員、長谷川委員、堀井委員、松井委員、宝田(隆)監事

事務局：教育委員会事務局理事 古西 達也

学校再編推進課長 山口 雅之

学校再編推進課主幹 高岡 太郎

学校再編推進課計画係主査 春田 圭介

学校再編推進課計画係主査 村石 篤彦

《開会》

【司会】 第1回浜黒崎小学校のあり方協議会を開催する。

(古西 教育委員会事務局理事 挨拶)

【司会】 本日、都合により3名が欠席している。

《事務局説明》

【司会】 これから進める地域協議の流れと、協議会での議論の進め方について事務局より説明する。

【学校再編推進課長】 (地域協議の流れ及び協議会での議論の進め方について説明)

《議事進行》

【司会】 議事に入る前に、協議会の会長が決まるまでの間の議長を浜黒崎校下自治振興会の渡辺会長にお願いしたいと考えるが、異議はあるか。

(異議なし)

【司会】 承認いただいたため、会長へお願いする。

【会長】 しばらくの間、仮議長を務める。議事についてはあらかじめ手元に配布した次第に従い行う。

《議題進行：第1号議案～第3号議案》

【会長】 はじめに、第1号議案「協議会会則（案）」、第2号議案「役員を選出」、第3号議案「予算（案）」について、一括して議題としたい。事務局から説明を求める。

【学校再編推進課長】 （第1号議案～第2号議案について説明）
第2号議案について事務局案でよければ、拍手をもって承認に代えたい。
（拍手）

【学校再編推進課長】 （第3号議案について説明）

【会長】 本協議会の会長にご指名いただいたので、一言ご挨拶申し上げます。
（会長 挨拶）

【会長】 第1号議案から第3号議案について、質疑・異議はあるか。
（質疑・異議なし）

【会長】 異議なしと認める。
よって、議案第1号から第3号については、原案のとおり可決する。

《意見交換》

【会長】 前回（5月25日）の意見交換会において出た意見について、事務局から説明をお願いしたい。

【学校再編推進課長】 （前回の意見交換会で出された主な課題及び過去の統合事例での対応について説明）

【会長】 今の説明について、質問等はあるか。

【委員】 今、過去の事例について紹介してもらったが、浜黒崎に合った具体的な事柄について、一つずつ解決できるよう話し合いは進めてもらいたい。

【学校再編推進課長】 統合する場所がどこになるかで変わってくるため、統合先が決まった段階で皆様からご意見をいただきながら進めて参りたい。

【委員】 統合するという話をしていくにしても、具体的な話がないと判断がしづらい。実際に子どもたちにとってどういう変化が出てくるかを含めて分かると良いと思う。

【学校再編推進課長】 委員の皆様からのご意見を伺いながら、調査してまいりたい。

【会長】 次に、今後の活動（案）について、事務局から説明をお願いしたい。

【学校再編推進課長】 （今後の活動（案）について説明）

- 【会長】 今の説明について、質疑や事務局（案）以外の案の提案などあるか。
- 【委員】 統合に携わった地域やPTAメンバー等の話を聞くことも良いとは思いますが、統合後のPTAに、統合前と後でどう変わったのかという話を聞くことはできないか。
- 【委員】 小学校の見学会をすることは一番イメージが湧くので、良いと思う。
- 【会長】 私個人で、気になった点としては、統合事例の話を聞くと、水橋エリアはあれだけの小中学校の数があって、それぞれの地域に伝統や文化もあったであろうと考えられるのに、よく話がまとまったなど感じる。話がまとまるのに何年程度、時間がかかったのか伺いたい。
- 【学校再編推進課長】 地域の方で統合が必要ではないかという話は10年程前から出ていたと聞いている。
ただ、正式に話が出たのは令和元年度と思っている。一つきっかけとなったのは、エリア内の小学校の新1年生の入学者が0名だったことであり、大きな引き金になったと伺っている。
- 【会長】 私たちもこういった歴史ある学校を再編するか否かという協議をしていくのは初めての経験であり、一人一人プレッシャーを感じている。だからこそ短期的に決めるのではなく、色々な情報を集めて長い目で検討していきたい。
時間をかけたからこそ、出てくるような意見もあると思う。
- 【委員】 この協議会の場だけではなく、地域住民に対しての説明会の開催ということは可能なのか。
- 【学校再編推進課長】 協議会の皆さんからそういったご意見があれば、開催のご用意はさせていただきたいと思っている。
- 【会長】 協議会だよりを作成して、各戸配布するとのことだったと思うが、配布されたものに対する意見というのは、この場で話をしていくものと考えているがよろしいか。
- 【学校再編推進課長】 地域の方からのご意見を直接事務局へいただいた場合は、この協議会の場で報告をさせていただきたい。
- 【委員】 今の再編案となっている大広田小学校との統合だけではなく、例えば水橋エリアのように針原小学校や岩瀬小学校なども含んで、北部エリアとして統合して、義務教育学校化するということについて、市は想定して

いないのか。

【学校再編推進課長】 義務教育学校というのは、制度的にも新しい学校の形である。
水橋学園は市内初の義務教育学校であり、今後義務教育学校という形が増えていく可能性はあると考えている。

水橋の場合はこれまでの統合のケースと異なり、中学校区同士の統合というケースであったため、ここまで大きな統合案件になったものである。なお、市からの提案で義務教育学校にすることになったわけではなく、地域からの要望があって進んだ話であり、現時点では他の地域で複数の中学校区を1つにするという案は考えていない。

【委員】 地域全体の意見集約の場は協議会だけになるのか。

【学校再編推進課長】 この場には各地域等団体の代表の皆さんが揃っておられるものと考えているので、地域から出た意見も踏まえた上で、この協議会の場で意見集約して合意形成となれば、協議会として判断をしていただきたいと考えている。

【委員】 協議会だよりを発行するという話があったが、地域住民の方でご意見がある方はどこにアピールすればよいのか。

【学校再編推進課長】 事務局（学校再編推進課）にいただくこととしたいと考えている。
ただ、会長や委員の方々に直接ご質問があったりすることもあり得ると思っている。

【委員】 もし統合する方向性に進むのであれば、PTAとして候補として考えているのは大広田小学校である。

そのため、小学校の見学会であれば大広田小学校を見てみたいという思いがある。

授業もだが、PTA活動も気になるし、児童クラブの活動も活発と聞いているので、そういったところも含めて見たり・話を聞いたりということをしてみたい。

場合によっては複数回必要になってくる可能性もあるので、そういったところは事務局として尽力いただきたい。

【委員】 本日、過去の統合事例を話していただいた。上手く統合が進んだ事例の話も良いが、上手くいかなかった事例や、上手くいかなかったところはその後どう改善していったかという話も今後聞いてみたい。

- 【委員】 富山市で統合された学校は何校あるのか。
- 【学校再編推進課長】 平成17年の市町村合併後に絞ると、小学校で「芝園小学校」・「中央小学校」・「三成小学校」・「大沢野小学校」の4校、中学校で「八尾中学校」の1校となる。
- 【委員】 保育所等の保護者にアンケートを取ってみたいと考えている。ただ、それをどう説明したらよいのかは少し悩んでいる。本日いただいた資料を基に話をすれば良いのか、今後配布される協議会だよりをもとにすれば良いのか、どういう風に話をしていけば良いか。
- 【学校再編推進課長】 昨年度、市教委が行った未就学児を含む保護者へのアンケートは、あえて細かく状況の説明を行わなかった。これは、細かく説明をすることにより、再編する方向に誘導してしまう懸念があったためである。よって、概要として簡潔にご説明するか、今後配布する協議会だよりをベースとして話をさせていただく形が良いのではないかと思う。
- 【会長】 それでは、今後は本日委員の皆さんから出た意見等を踏まえて、私と事務局の方で今後の進め方を調整していきたいと思う。以上で本日の協議事項は終了となるが、その他意見や質問はあるか。
- 【委員】 なるべく地域全体の意見を吸い上げるための方法はもう少し考えなければならぬと思う。協議会のHPを作成したり、メールアドレスを作ってそこに意見を送付してもらおう等、方法は考えていく必要がある。
- 【委員】 このあり方協議会で回数を重ねて議論をしていかないと統合する・しないの方向性の結論はできないと思う。今後の活動（案）にもあった、見学会や視察などをして色々なことを見ていくべきと考える。
- 【会長】 通学路の整備については絶対的に必要な条件だと考えている。スクールバスを出すにしろ、歩道を整備するにしろ、子どもたちのことを第一に考えていかなければならない。また、学校跡地については、実際のところどうなるのか。
- 【委員】 学校跡地は地域のために役立てばいいという思いがあるので、取り上げられないことがないか心配だ。

【学校再編推進課長】 学校跡地については、今後地域の方々のご要望を聞きながら活用策を決定していくことなる。

主体となって検討していくのは市長部局になるが、市教委も連携しながら進めてまいりたい。いずれにしても、跡地をそのまま放置するということはないと考えている。

今までのケースでは古い校舎であったため、解体した後に土地として活用をしていたが、これからは比較的新しい校舎であるケースも増えてくると考えられる。そのため、校舎をどう活用していくかということは地域の方々と市で検討し、問題意識を持って考えてまいりたい。

【会長】 この他、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

【会長】 本日、あり方協議会が立ち上がったが、引き続き地域住民の皆さんの意見を聞きながら進めていきたい。

今後も協議会を開催する上で、委員の皆さんには住民の方と話し合っこの場に意見を持ってきていただくなど、ご協力をお願いしたい。

本日は以上で終了としたい。

【事務局理事】 ありがとうございます。

本日委員の皆さんから色々なご意見をいただいた。

各団体の方へ本日の話を持ち帰っていただき、ご意見があれば次回協議会の場でご意見を出していただきたい。

各団体において、話の進め方などお悩みのことがあれば事務局に御相談をいただければと思う。

【会長】 最後に事務局から連絡事項等はあるか。

《閉会》

【司会】 次回、第2回のあり方協議会は、今後会長と内容や日程について調整をさせていただきます、後日改めて詳細を案内する。

以上をもって、第1回浜黒崎小学校のあり方協議会を終了する。

——— 了 ———